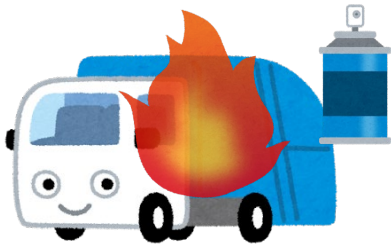




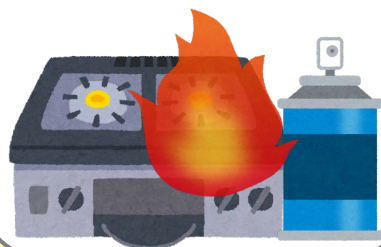
ごみ収集車の火災



ごみ処理施設の火災



キッチンでの火災



スプレー缶火災は家以外でも発生しています！

正しく使って、正しく処分をしましょう👉

なぜ、スプレー缶で火災が起きるの？

スプレー缶には可燃性のガスが入っています。

中身が残ったまま捨てたり、穴を開けたりすると、**火災の原因**になります。

密室でガス抜きをする



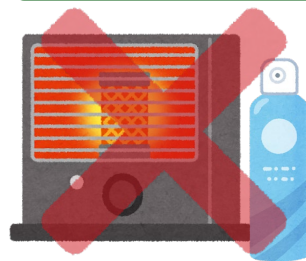
台所のシンク内など、**火気の近い場所・屋内**でのガス抜きは、引火の恐れがあります。

穴を開ける・潰す



内部のガスに引火して、火災や爆発を起こすおそれがあります。

高温な場所に放置



直射日光や暖房器具のそばなど、高温になると**破裂や引火**のおそれがあります。

スプレー缶を安全に使い、正しく捨てるために

①使い切りましょう



中身を使い切るのがいちばんの安全対策！

- ✓ 最後までしっかり使い切る
- ✓ 使い切れない場合は、火の気のない風通しの良い**屋外**でガスを抜く

②ガス抜きキャップを使いましょう



付属のキャップなどでガスを抜くことができます
詳しくは商品ラベルをご確認ください！

③分別して、決められた方法で捨てましょう

横浜市では、燃えるごみ日に、燃えるごみとは別の袋に入れて収集場所に出しましょう。



週2回
透明or半透明袋で